

業況判断は今期・次期とも小幅ながら悪化

人件費高騰が経営上の問題の1位へ

【概況】

◆主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)

全体

＜今期＞業況判断・経常利益が悪化

＜次期＞主要3項目すべて悪化を予測

業種別

＜今期＞卸売業は業況判断が23.6ポイント悪化、建設業は売上高が14.8ポイント改善

＜次期＞サービス業は売上高が14.1ポイント悪化を予測、卸売業は売上高が17.1ポイント改善を予測

規模別

＜今期＞小規模企業は主要3項目すべて悪化、中規模企業は売上高・経常利益が改善

＜次期＞大規模企業は経常利益が改善、中規模企業はすべて悪化を予測

◆その他DI

雇用は改善

販売価格・受注単価、資金繰り、設備投資は悪化

◆経営上の問題

1位:人件費高騰 2位:人材不足 3位:商品、原材料仕入価格上昇
(前期から1位と2位が入れ替わり)

【付帯調査:正社員の採用について】

●2025年度の採用結果

新卒、中途ともに計画通りに採用できた企業の割合が、前年同期比で増加

●採用活動の問題点

- ・応募が少ないことが1番の問題点
- ・選考中・内定後の辞退や早期離職など採用から入社後に至る段階で課題を抱える企業もみられた

●2026年度の採用予定

新卒採用では2025年度より増枠して「採用予定」である企業の割合が前年同期比で1.7ポイント増加した

調査機関:北九州商工会議所

調査期間:令和8年2月24日～3月19日

回答数:451社(製造業103社・非製造業348社)

調査方法:郵送・メール・ヒアリングによるアンケート

[参考]調査開始日(2/24)の株価及び外国為替市況

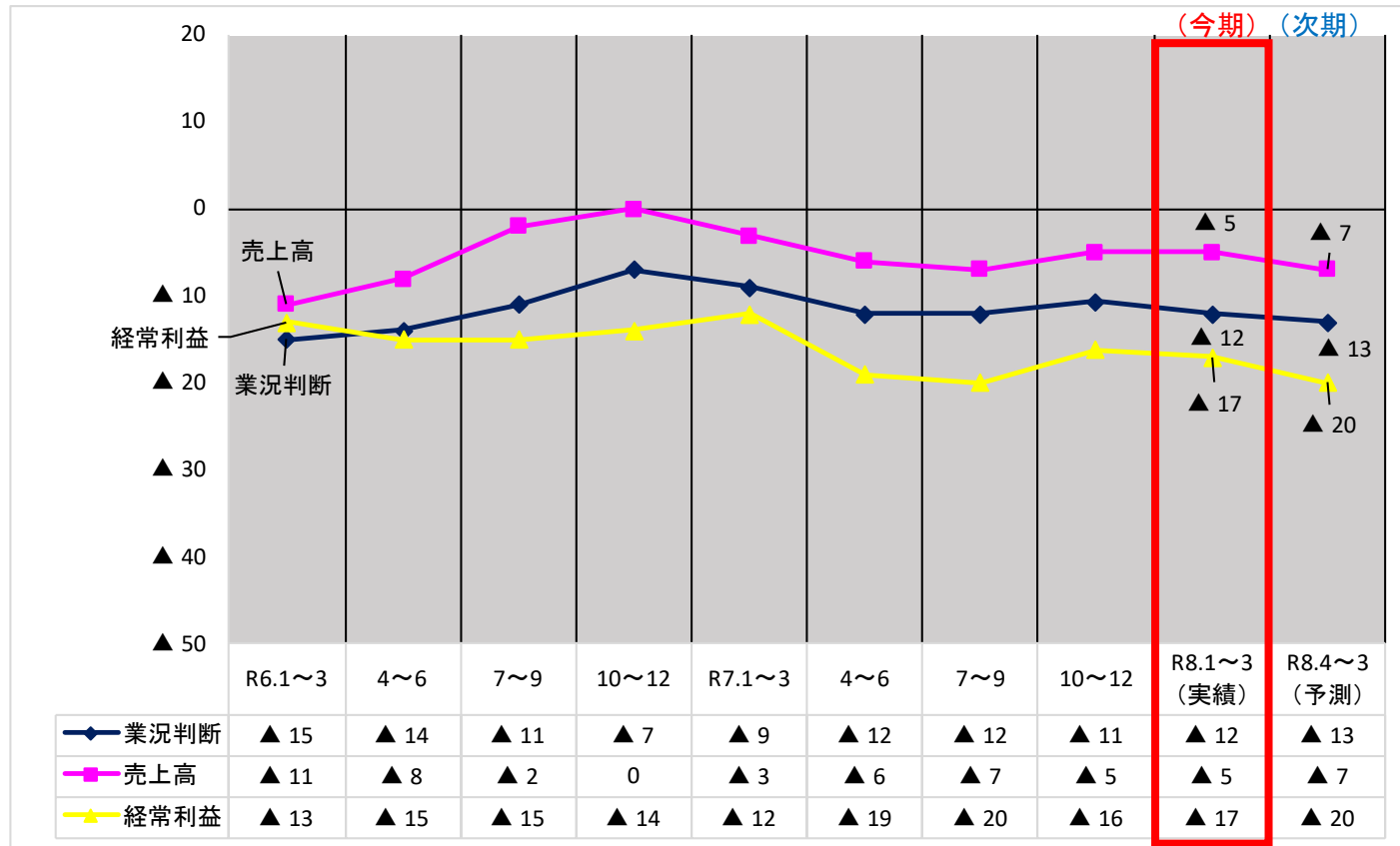
日経平均株価終値57,321円09銭

東京外国為替市場対ドル円相場終値155円88銭

発表日:令和8年4月10日

※大規模企業は従業員300人以上、中規模企業は従業員100～299人、小規模企業は従業員99人以下と設定
※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは...それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。
(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移とみなす。

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向



	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲ 1P	± 0P	▲ 1P
次期予測	▲ 1P	▲ 2P	▲ 3P

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

<今期>

業況判断・経常利益が悪化

<次期>

主要3項目すべて悪化を予測

業種・規模別一覽

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

		業況判断		売上高		経常利益	
		今期	次期	今期	次期	今期	次期
業種別	製造業	▲6.3P	+1.9P	▲8.5P	+1.0P	▲13.2P	+3.9P
	卸売業	▲23.6P	+12.8P	▲15.8P	+17.1P	▲7.6P	+12.8P
	小売業	▲0.8P	+1.7P	▲1.3P	+8.5P	+2.9P	+5.1P
	運輸業	▲0.5P	+3.9P	▲5.8P	+3.9P	+7.1P	▲5.9P
	サービス業	+5.4P	▲9.5P	+8.7P	▲14.1P	▲0.2P	▲12.6P
	建設業	+6.6P	▲1.6P	+14.8P	▲9.4P	+13.9P	▲6.3P
規模別	大規模企業	+4.0P	▲6.0P	▲2.0P	▲10.0P	▲6.0P	+2.0P
	中規模企業	▲0.1P	▲1.4P	+11.4P	▲4.3P	+12.5P	▲5.7P
	小規模企業	▲2.9P	+0.6P	▲2.2P	±0.0P	▲3.1P	▲2.2P

＜今期＞卸売業は業況判断が23.6ポイント悪化、建設業は売上高が14.8ポイント改善
 ＜次期＞サービス業は売上高が14.1ポイント悪化を予測、卸売業は売上高が17.1ポイント改善を予測

＜今期＞小規模企業は主要3項目すべて悪化、中規模企業は売上高・経常利益が改善

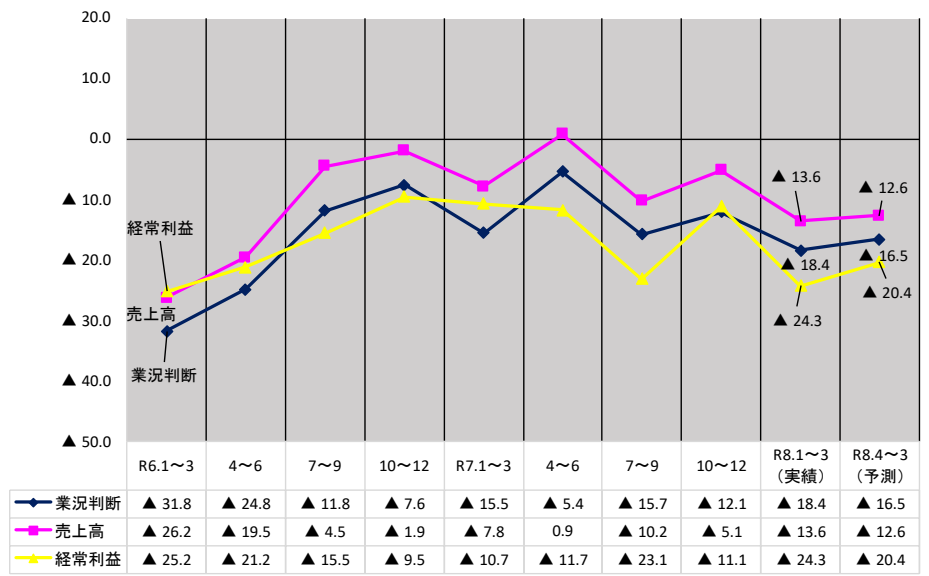
＜次期＞大規模企業は経常利益が改善、中規模企業はすべて悪化を予測

業種別 主要3項目

※■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

製造業

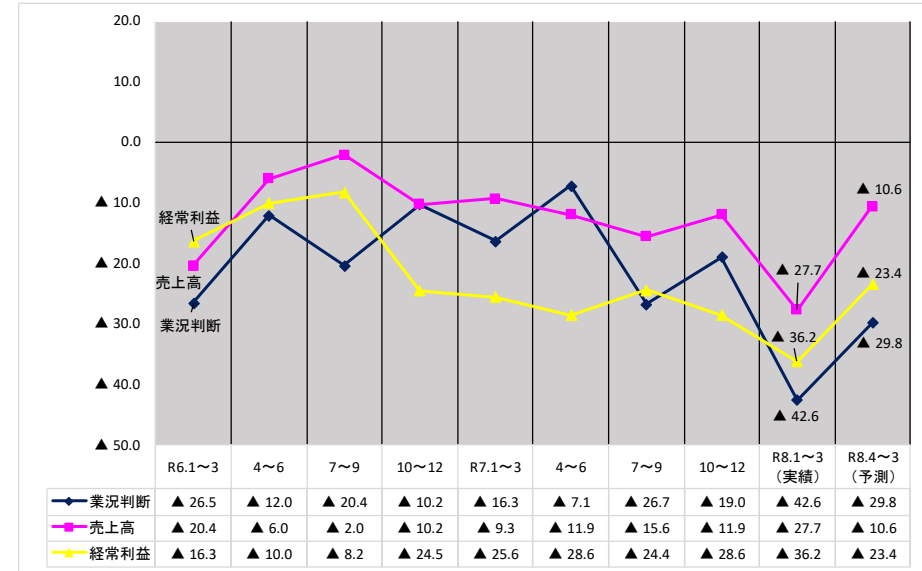
(今期)(次期)



	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲ 6.3P	▲ 8.5P	▲ 13.2P
次期予測	+1.9P	+1.0P	+3.9P

卸売業

(今期)(次期)



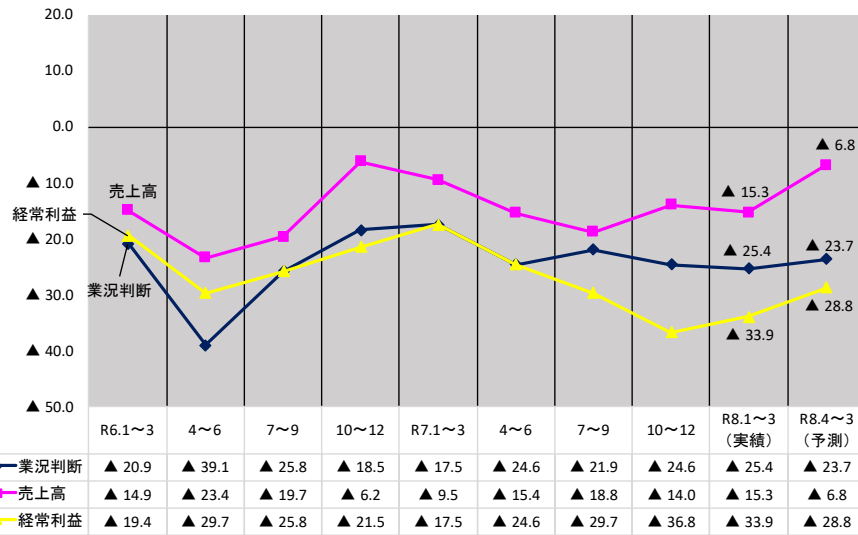
	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲ 23.6P	▲ 15.8P	▲ 7.6P
次期予測	+12.8P	+17.1P	+12.8P

業種別 主要3項目

※■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

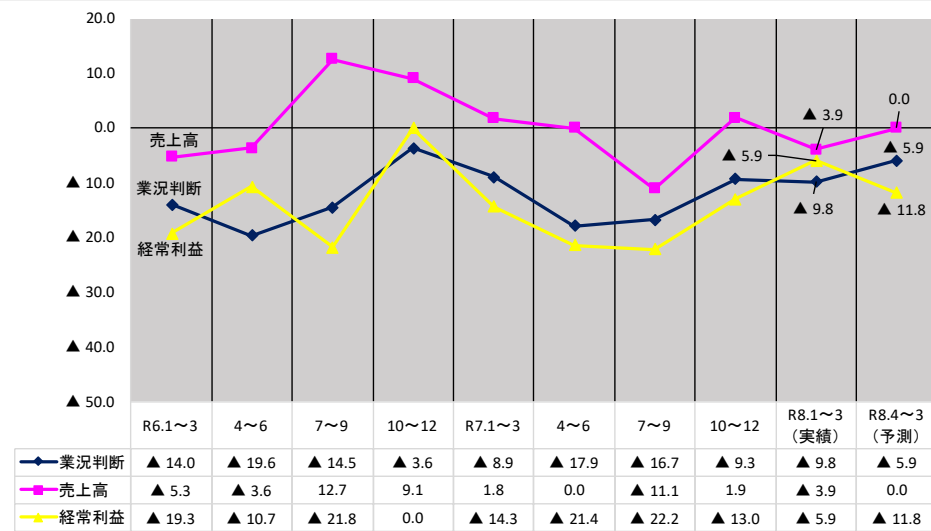
小売業

(今期)(次期)



運輸業

(今期)(次期)



	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲0.8P	▲1.3P	+2.9P
次期予測	+1.7P	+8.5P	+5.1P

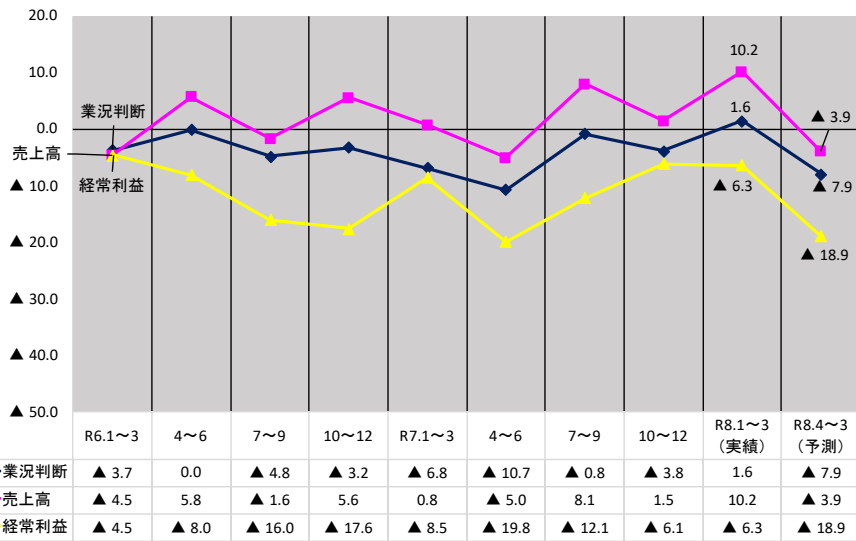
	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲0.5P	▲5.8P	+7.1P
次期予測	+3.9P	+3.9P	▲5.9P

業種別 主要3項目

※■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

サービス業

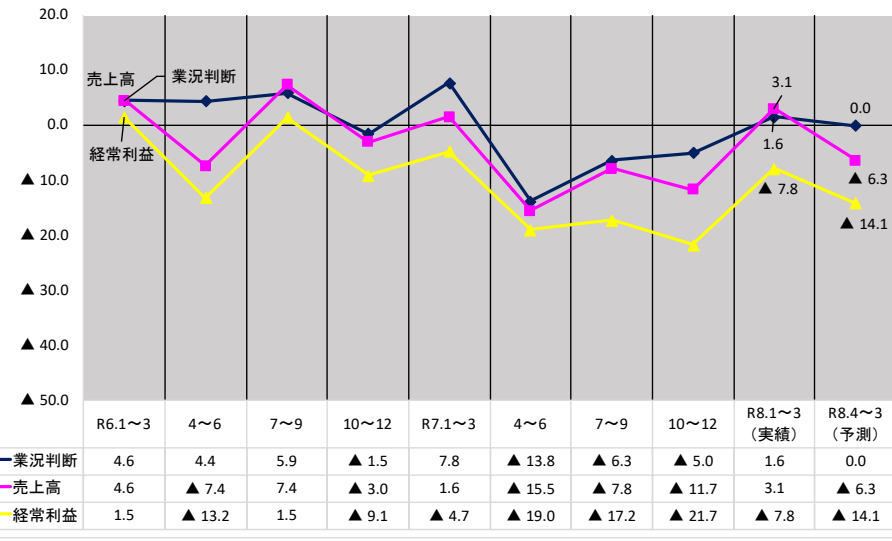
(今期)(次期)



	業況判断	売上高	経常利益
今期	+5.4P	+8.7P	▲0.2P
次期予測	▲9.5P	▲14.1P	▲12.6P

建設業

(今期)(次期)



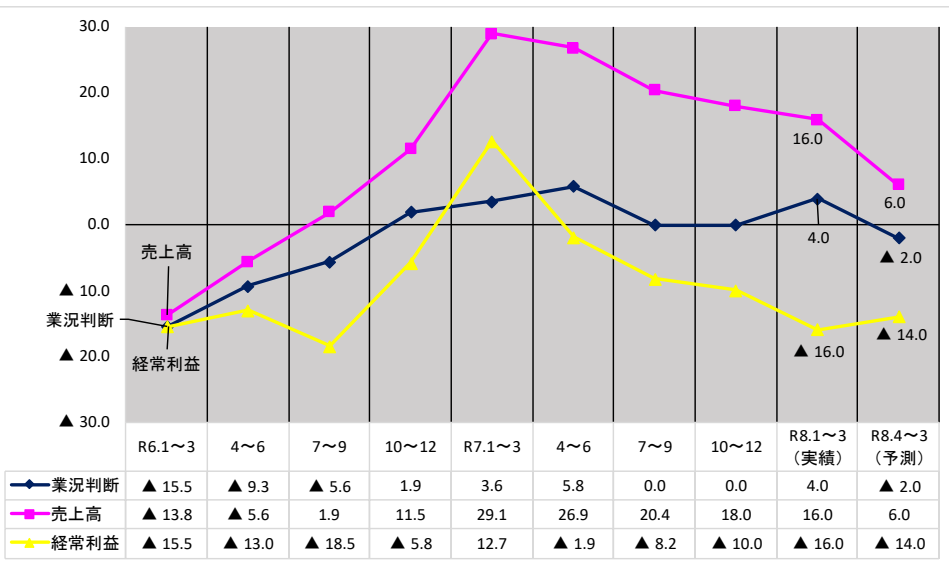
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+6.6P	+14.8P	+13.9P
次期予測	▲1.6P	▲9.4P	▲6.3P

規模別 主要3項目

※■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

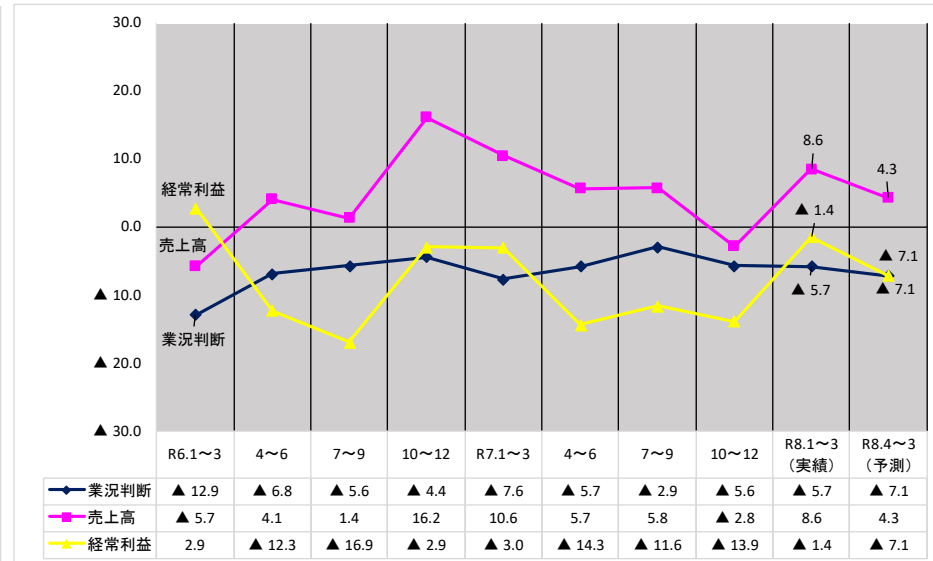
大規模企業

(今期)(次期)



中規模企業

(今期)(次期)



	業況判断	売上高	経常利益
今期	+4.0P	▲2.0P	▲6.0P
次期予測	▲6.0P	▲10.0P	+2.0P

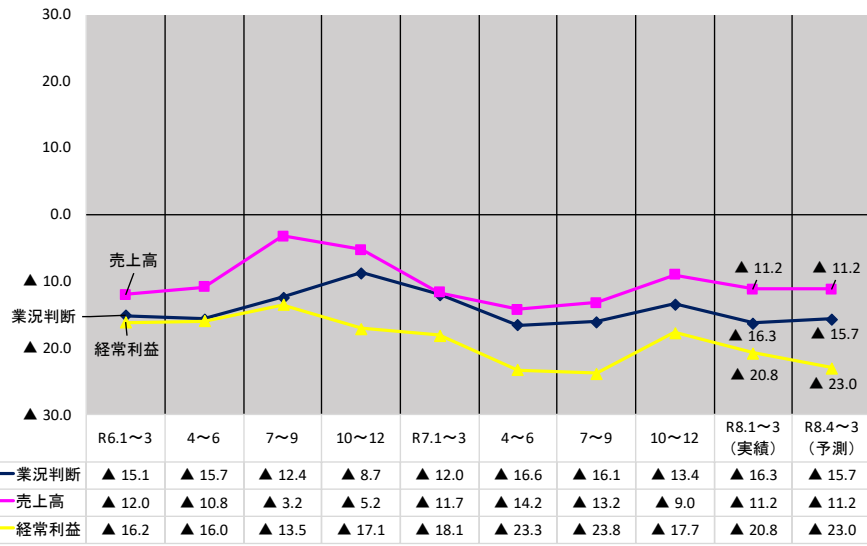
	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲0.1P	+11.4P	+12.5P
次期予測	▲1.4P	▲4.3P	▲5.7P

規模別 主要3項目

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

小規模企業

(今期)(次期)



	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲2.9P	▲2.2P	▲3.1P
次期予測	+0.6P	±0.0P	▲2.2P

その他DIの動向

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

	R6年		R7年				R8年	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3 (今期)	4~6 (次期予測)
①販売価格・受注単価 (「増加」-「減少」)	17.2	23.4	23.6	18.2	14.5	20.3	18.9	19.7
②資金繰り (「容易」-「困難」)	8.0	7.9	7.7	9.7	6.0	8.0	5.7	5.3
③設備投資 (「増加」-「減少」)	2.6	4.9	3.2	▲0.2	6.0	3.0	1.1	▲0.5
④雇用 (「過剰」-「不足」)	▲44.2	▲47.3	▲47.7	▲43.4	▲38.8	▲46.8	▲41.4	▲42.8

①販売価格・受注単価

＜今期＞ 1.4ポイント悪化

＜次期＞ 横ばいを予測

②資金繰り

＜今期＞ 2.3ポイント悪化

＜次期＞ 横ばいを予測

③設備投資

＜今期＞ 1.9ポイント悪化

＜次期＞ 1.6ポイント悪化を予測

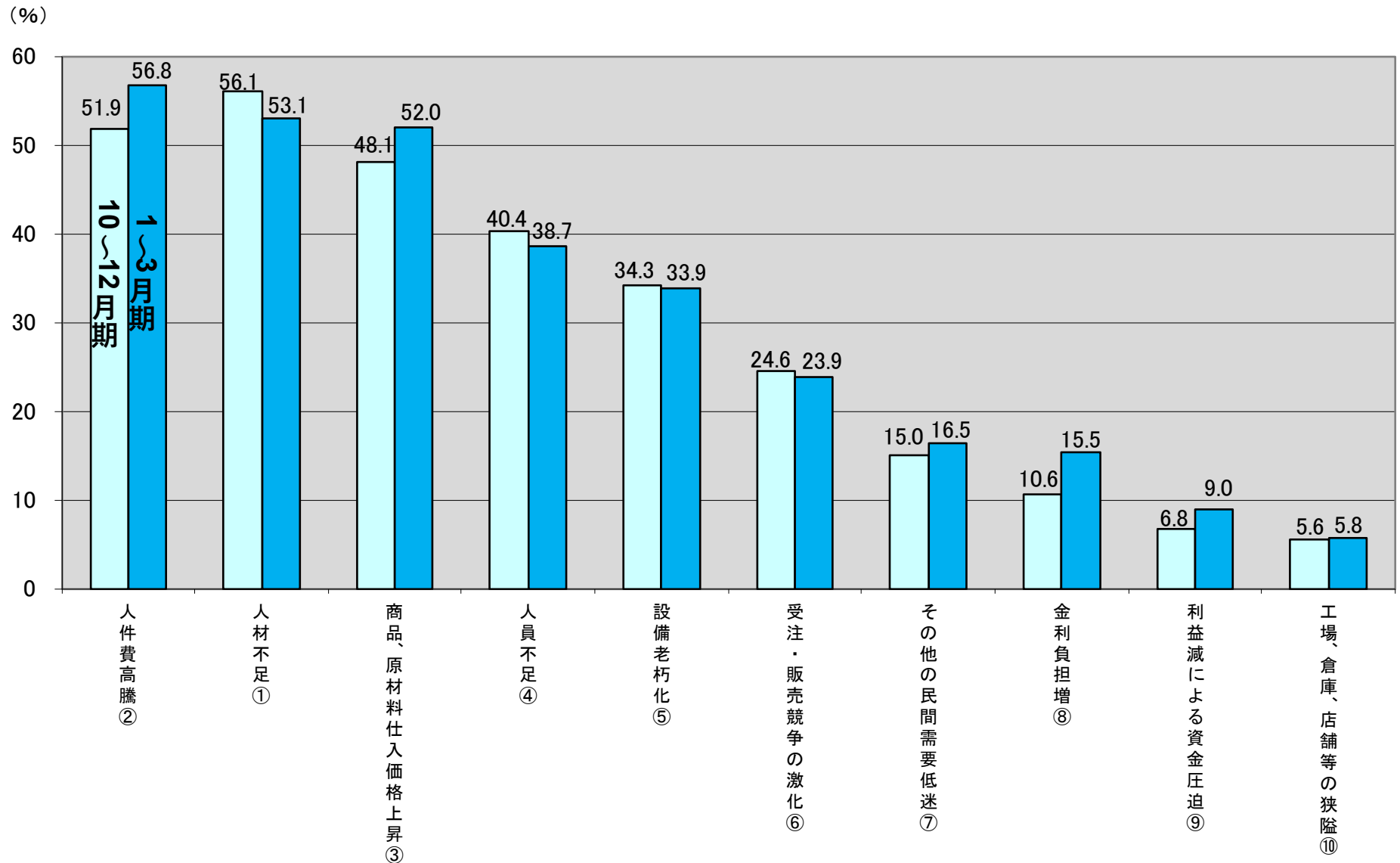
④雇用

＜今期＞ 5.4ポイント改善

＜次期＞ 1.4ポイント悪化を予測

経営上の問題点上位10項目(複数回答)

※項目の丸数字は前回調査の順位



調査対象企業の声

業種	業種詳細	規模	内容
製造業	化学	中規模	イラン情勢緊迫化に伴い、中東からの 原油、肥料原料の輸送がかなり厳しい状況 で肥料の供給にも不安が生じている
製造業	印刷	小規模	求人募集をしてもなかなか申し込みが無い ことが直近の一番大きな課題
卸売業	その他の卸売業	小規模	商品、原材料仕入価格の上昇は顕著に影響を及ぼしている
小売業	その他の小売業	小規模	年間休日の増加による 残業時間増加 、段階的なスタッフの 給与引き上げ など、人件費・雇用に関する部分で多くの問題を抱えている
小売業	飲食料品	小規模	仕入価格の急上昇と人件費高騰はかなり厳しい。 大手企業は値上げを実行しているが、そのための価格転嫁ができていない
小売業	その他の小売業	小規模	新卒採用する際、人材コンサルに依頼すると多額の費用が発生するため、 ハローワークや社内の人脈を生かした中途採用 にしている
運輸業	旅客運送	小規模	燃料費高騰と調達の問題が解決しない。 イラン問題が始まって原油価格が安定しない
サービス業	情報サービス	中規模	新卒採用は今回から 採用時期を早めて対応しているが、その分内定辞退も増える と予測
サービス業	旅館・ホテル	中規模	仕入価格や人件費の高騰分を 価格転嫁することで売上などは増加 している
建設業	総合建設	小規模	技術系の社員が不足しているので確保したい。 入社後の早期離職が多くな ってきている

正社員の採用について(パート・アルバイト除く)(付帯調査)

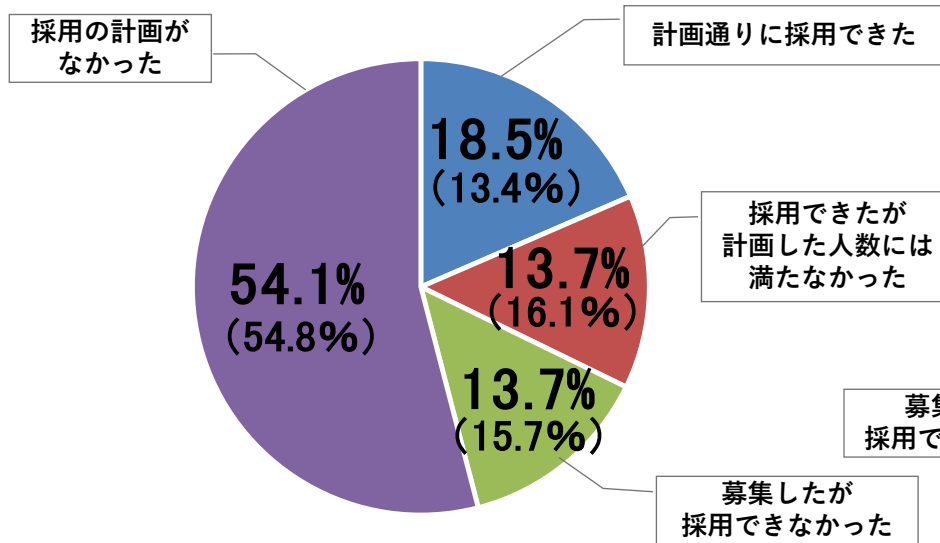
(1) 2025年度の採用活動結果はいかがですか？

新卒採用…2026年4月1日入社予定

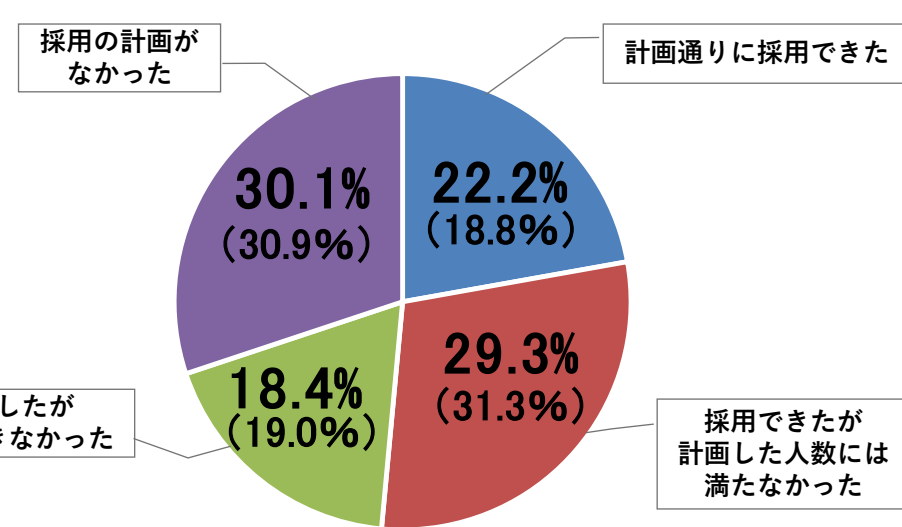
中途採用…2025年4月～2026年4月1日入社予定含む

※グラフ()内の数字は
前年第4四半期調査時の数値

新卒採用



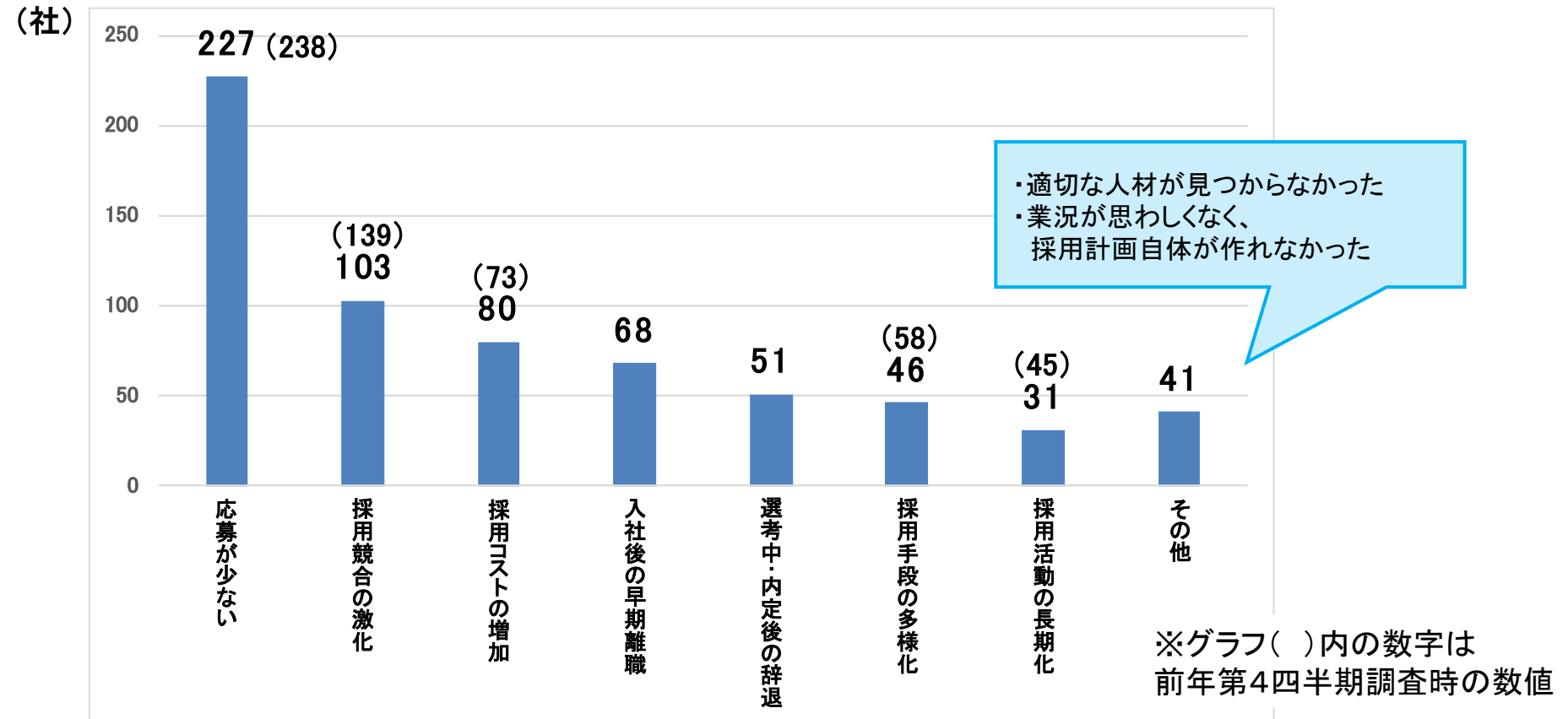
中途採用



- ・新卒、中途採用ともに計画通りに採用できた企業の割合は前年同期比で3ポイント以上増加している
- ・新卒採用で募集したが採用できなかった割合は前年同期比で2ポイント減少している

正社員の採用について(パート・アルバイト除く) (付帯調査)

(2) 採用活動の問題点(計画通りにいかなかった理由等)は何ですか？



- ・ 応募が少ないことが1番の問題になっている。前年同期比で見ると11社減少しており、計画通りの採用ができた企業が若干増加していることを裏付けている
- ・ 50社を超える企業で入社後の早期離職、選考中・内定後の辞退が問題となっており、採用から入社後にわたり課題を抱えている

正社員の採用について(パート・アルバイト除く) (付帯調査)

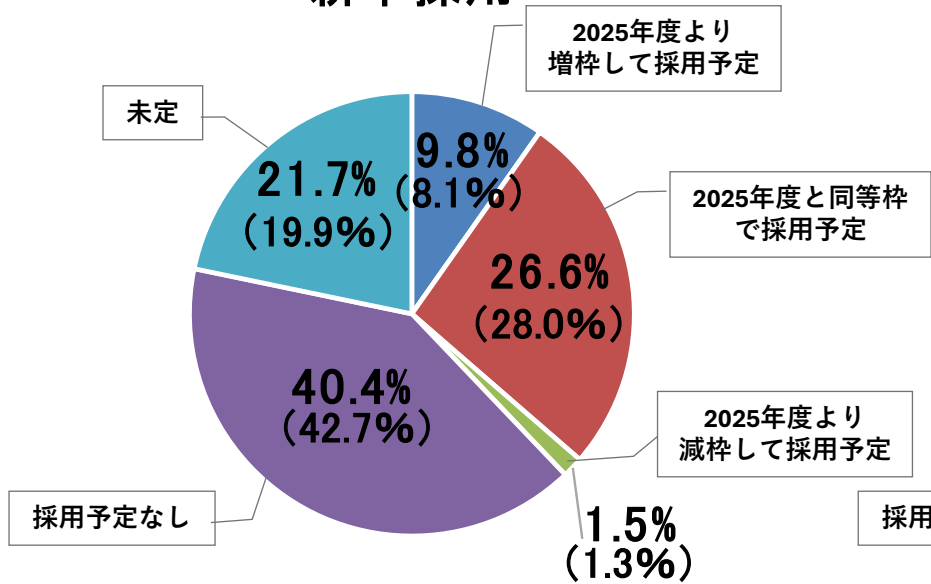
(3) 2026年度の採用活動の予定はいかがですか？

新卒採用…2027年4月1日入社予定

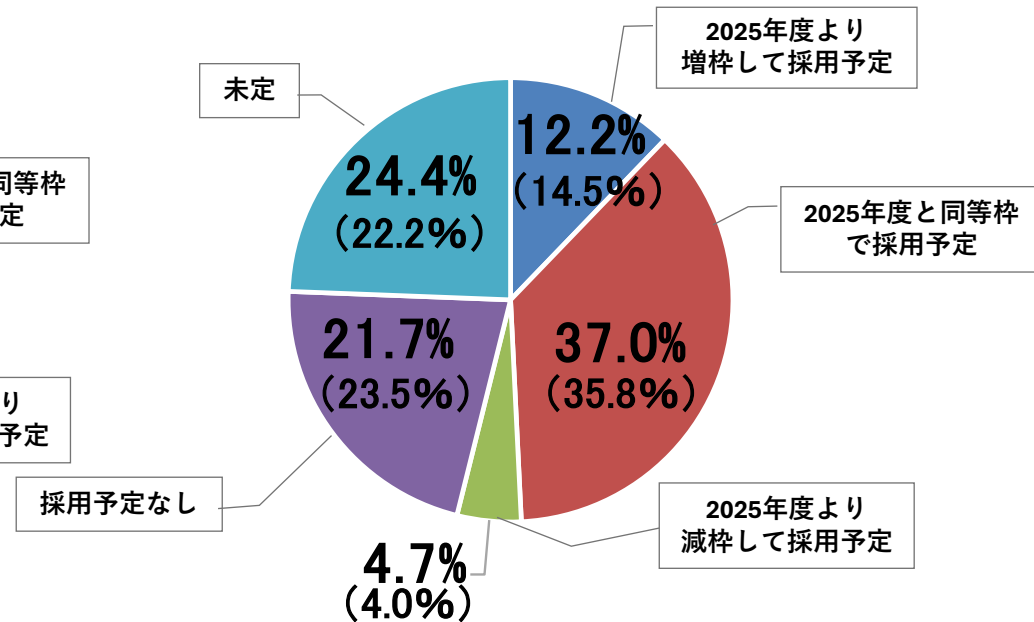
中途採用…2026年4月～2027年4月1日入社予定含む

※グラフ()内の数字は
前年第4四半期調査時の数値

新卒採用



中途採用



- ・ 新卒採用では2025年度より増枠して採用予定である企業の割合が前年同期比で1.7ポイント増加している(中途採用は2.3ポイント減少)
- ・ 採用予定なしの割合が新卒・中途ともに約2ポイント減少している